

共同運営部門：リハビリテーションセンター

—概要—

リハビリテーションセンターでは、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が中心になって、様々な障害を持つ患者さん達の望ましい生活が可能な限り送れるように努めています。

当院では、脳卒中や整形外科手術後のリハビリだけでなく、心筋梗塞や心不全、心臓手術後の心臓リハビリテーション、呼吸器疾患、手術後の呼吸機能に問題のある方に対し呼吸器リハビリテーションやICUや救命救急センターでの早期からのリハビリテーション、また長期間の入院治療により、安静を余儀なくされ、座れない、歩けないといった患者様に対してのリハビリテーションも積極的に取り組んでいます。

当院のリハビリテーションには整形部門・循環器部門・脳疾患部門・救命救急部門・内科部門・がん治療部門・摂食嚥下部門のチームがあり、各チームのスタッフが医師や看護師、社会福祉士等と積極的にカンファレンスを行い、より良いリハビリテーションの提供を心掛けています。また、土日祝日もリハビリテーションを実施しております。

地域のリハビリ関連病院との連携を密にし、なるべく早く安全に家庭生活、職場復帰ができる様、リハビリスタッフ一同、一層の工夫と熱意で取り組ませていただきます。

—研究業績数—

	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度 令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	計
英文原著、 総説、著書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和文原著、 総説、著書	2	2	3	2	5	1	2	1	3	0	21
国際学会報告	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
国内学会報告	2	5	7	10	5	8	6	7	6	7	63
研究会・講演会	0	0	0	0	4	3	0	1	0	2	10
学術講演・講義	2	9	9	9	4	0	0	1	6	3	43
院内研究活動	0	0	6	1	6	6	6	3	9	0	37
座長	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
計	6	16	25	22	24	18	16	14	24	12	177

研究業績：共同運営部門 リハビリテーションセンター

平成23年度

(1) 原著、総説、著書 (2011.4～2012.3)

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	筋腱移行部伸張のハムストリングスに対する伸長効果の検討 ～ストレッチと筋腱移行部伸張法の比較～	藤野文崇	大阪河崎リハビリテーション大学紀要	第6巻		2012.3
2	高齢者の異常行動と理学療法	藤野文崇	理学療法	第28巻 第12号		2011.12

(2) 学会研究会報告 (2011.4～2012.3)

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	脳卒中片麻痺患者におけるハムストリングの伸張性の改善効果の検討	藤野文崇	第51回近畿理学療法学会学術大会	2011.11.13
2	姿勢計測ソフト Rysis Angle を用いたハムストリングスに対するストレッチ効果の検討 ～昇段動作を指標として～.1	藤野文崇	第4回姿勢計測セミナー	2012.1.2

(3) 学術講演 (2011.4～2012.3)

番号整理	演題	発表者	発表場所及び対象	年月日
1	呼吸リハビリテーション	石田恭子	場所:リハビリテーション室 対象:院内看護エキスパートコース受講者	2011.4
2	ポジショニング	小西勇介	場所:リハビリテーション室 対象:看護師	2011

平成24年度

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	レッドコード・トレーナーを用いたヒップアブダクションエクササイズによる患者への重心移動効果	藤野文崇	レッドコードサイエンス	No.1	22-30	2013.1
2	前庭神経核を中心とした脳梗塞を呈した症例 - 視覚・前庭覚・固有覚の協調性に着目し理学療法を実施した一例 -	河野真也	第52回近畿理学療法学会学術大会誌			2013.3

(2) 学会研究会報告

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	前庭神経核を中心とした脳梗塞を呈した症例 - 視覚・前庭覚・固有覚の協調性に着目し理学療法を実施した一例 -	河野真也	第52回近畿理学療法学会学術大会 in NARA	2013.11
2	動画によるフィードバックが動作に影響を及ぼした一例	藤野文崇	第27回 リハ工学カンファレンス	2012.8
3	超音波エコーによる筋腱移行部伸張法と静的ストレッチの特性比較	藤野文崇	リハビリテーション・ケア合同研究大会札幌2012	2012.10
4	ソフトボール投手に対するレッドコードエクササイズの即時効果の検討	藤野文崇	第15回日本レッドコード研究会学術大会	2013.01
5	動画によるフィードバックを用いた動作指導の試み	藤野文崇	姿勢計測セミナー	2013.01

(3) 学術講演

番号整理	演題	発表者	発表場所及び対象	年月日
1	Functional Kinetics Klein-Vogelbach part1	藤野文崇	場所:大阪河崎リハビリテーション大学 対象:理学療法士協会会員	2012.8
2	Functional Kinetics Klein-Vogelbach part2	藤野文崇	場所:大阪河崎リハビリテーション大学 対象:理学療法士協会会員	2012.9
3	PNF と歩行	藤野文崇	場所:済生会中津病院 対象:理学療法士、作業療法士、医師	2012.12

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
4	PNF 概念に基づく運動療法	藤野文崇	場所:東生駒病院 対象:理学療法士、作業療法士	2012.3
5	運動麻痺とポジショニング	岡田仁志	場所:リハビリテーション室 対象:看護師	2012.10
6	呼吸リハビリテーション	石田恭子	場所:リハビリテーション室 対象:看護師	2012.9 2012.10 2012.11 2012.12
7	糖尿病の運動療法	石田恭子	場所:リハビリテーション室 対象:看護師	2012.11
8	認知運動療法ベーシックコース大阪 ～認知運動療法の実際～	小西勇亮	場所:門真市ルミエールホール 対象:PT・OT・ST	2012.7
9	リハビリテーションの基礎知識	小西勇亮	場所:泉の森ホール 対象:介護ヘルパー2 級受講者	2012.11



平成25年度

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Application of ISO-based posture measurement system "RYSIS" to clinical gait assessment	藤野文崇	大阪河崎リハビリテーション大学紀要	8(1)	17-27	2013
2	レッドコードを介した振動刺激の特徴 ～小型加速度計を用いて～	藤野文崇	Redcord Science	2	36-40	2014
3	THA術患者における歩行時の股関節伸展能力とCS-10とTUGの関係	藤野文崇	近畿理学療法学会大会誌	43		2014

(2) 学会研究会発表

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	Rysis AngleとGate Judgeを用いた歩行評価の理学療法への応用	藤野文崇	リハビリテーション工学カンファレンス 盛岡	2013.8.22-24
2	What is the observational predictor for motor functional capability during post-operative phase of THA patient?	藤野文崇	アジア理学療法学会大会 台湾	2013.9.6-8
3	糖尿病患者さんの運動療法	河野真也	泉州糖尿病フォーラム	2013.11.3
4	THA術患者における歩行時の股関節伸展能力とCS-10とTUGの関係	藤野文崇	近畿理学療法学会大会 京都	2013.11.3
5	急性期運動失調症例に対するRedcord Exerciseを用いた理学療法の経験	大野直紀	リハビリテーションケア合同研究大会 千葉2013	2013.11.22
6	特発性正常圧水頭症(iNPH)患者に対する術後リハビリテーション効果の検討	藤野文崇	リハビリテーションケア合同研究大会 千葉2013	2013.11.22
7	脊椎に多発骨転移を認めた症例に対するレッドコードエクササイズの効果	藤野文崇	日本レッドコード研究会学会大会 北海道	2014.1.26

(3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	脳卒中片麻痺患者に対するPNFアプローチ	藤野文崇	徳島PNF研究会 鴨島整形外科 理学療法士、作業療法士	2013.8.4
2	Klein-Vogelbachの運動学に基づく運動療法～基礎編～	藤野文崇	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法士	2013.7.18
3	Klein-Vogelbachの運動学に基づく運動療法～臨床編～	藤野文崇	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法士	2013.7.25
4	片麻痺の病態解釈と	小西勇亮	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法科 学生	2013.11.9
5	臨床における思考過程	小西勇亮	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法科 学生	2013.11.9
6	片麻痺の病態解釈とポジショニングについて	小西勇亮	当院5海病棟 看護師	2014.2.
7	運動療法のリスク管理 ー内部障害を中心に	宮本誠一郎	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法士	2013.11.21
8	運動療法のリスク管理 ー内部障害を中心に	宮本誠一郎	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法士	2013.11.28
9	運動療法のリスク管理	宮本誠一郎	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法士	2014.3.5

(4) 院内研究活動

番号	整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1		新人看護師向け移乗ポジショニング講習会	藤田将敬 岡田仁志	2013.4.26
2		7海看護師への移乗・体交講習会	藤田将敬 河野信也	2013.6.25
3		褥瘡ポジショニング研修会	藤田将敬	2013.11.21
4		NST勉強会 トロミパワースマイル使用量目安表について	廣谷典子	2014.3.10
5		NSTサポートチーム勉強会	廣谷典子	2014.2.5
6		市民健康講座「楽しく安全に食べるために」 ～嚥下の仕組みと嚥下障害への対応～	一柳律子	2014.1.18



平成26年度

(1) 原著、総説、著書

番号	整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1		歩行分析における動画切り出し画像の定量評価の簡便な方法の提案	藤野文崇	大阪河崎リハビリテーション大学紀要	9	95-105	2015
2		THA術後患者に対する腹臥位・四つ這位での運動は有効か	藤野文崇	近畿理学療法学会大会誌	44		2015

(2) 学会研究会発表

番号	整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1		内包後脚のラクナ梗塞により歩行困難となった一症例～Redcord Exerciseでの急性期理学療法法の展開～	大野直紀	日本リハビリテーション医学会	2014.6.5-7
2		腹部大動脈瘤術後患者におけるリハビリテーション遅延因子の検討	岡田仁志	日本老年医学会	2014.6.12
3		終末期に患者さんのニーズを重視したリハビリテーションを実施した一例	藤野文崇	第19回日本緩和医療学会大会	2014.6.19-21
4		THA患者の爪切り動作獲得には何が必要か	安江優美	栗東芸術文化会館SAKIRA	2014.10.5
5		脳梗塞後の入院期間に血圧変動は影響するか?	岡田仁志	日本高血圧学会総会	2014.10.17-19
6		THA術後患者に対する腹臥位・四つ這位での運動は有効か	藤野文崇	第54回近畿理学療法学会大会	2014.11.3
7		THA術後患者における歩行時の関節角度と機能的評価の関係	藤野文崇	リハビリテーション・ケア合同研究大会in長崎	2014.11.6-8
8		バランス不良症例に対する頭頸部へのアプローチは有効か	藤野文崇	リハビリテーション・ケア合同研究大会in長崎	2014.11.6-8
9		当院救命救急センターにおけるリハビリテーション科と看護部の取り組み	藤野文崇	第8回日本医療マネジメント学会大阪支部会	2015.2.21
10		レッドコードを用いた姿勢制御課題と眼球運動課題を実施した一症例	大野直紀	第17回日本レッドコード研究会学会大会	2015.2.8

(3) 学術講演

番号	整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1		座位姿勢計測ソフトRysisの紹介(ワークショップ)	藤野文崇	インテックス大阪 理学療法士、作業療法士、他	2014.4.18
2		クラインフォーゲルバッハの概念による運動療法	藤野文崇	関西医療大学 理学療法士	2014.9.25
3		Functional Kinetics	藤野文崇	関西医療大学 理学療法士	2014.10.2
4		バランスについて考える	藤野文崇	市民交流センターなにわ 理学療法士、作業療法士	2014.12.7
5		脳卒中患者の痙縮はなぜおこる	藤野文崇	エントレリハ 理学療法士、看護師、介護士	2014.12.13
6		PNF(マットアクティビティ)	藤野文崇	済生会中津病院	2014.12.14
7		PNF(マットアクティビティ)	藤野文崇	済生会中津病院	2015.1.18
8		レッドコードエクササイズ実践編	藤野文崇	スポーツデイサービス 煌 理学療法士、柔道整復士、介護士	2015.1.25
9		自宅で出来る下肢のリハビリテーション	藤野文崇	りんくう総合医療センター 一般市民	2014.3.14

(4) 院内研究活動

番号	整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1		NST専門療法士研修講師	廣谷典子	2014.6.10-11 2014.12.9-10



平成27年度

(1) 和文原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	レッドコードを用いた間接的振動刺激の特性について～周波数, 加速度に着目して～	小奈武陸 正木忠生 川畑拓也 鈴木順一 山川雅史 藤野文崇	レッドコード・サイエンス	3 (1)	9～19	2015
2	THA患者に対する腹臥位でのアプローチは有効か	藤野文崇 大野直紀	近畿理学療法学会誌	44		2015
3	人工股関節置換術後における動作分析	大野直紀 上杉雅之 西守 隆 金井一暁 長谷川 治 松井知之 東 善一 甲斐義浩 藤野文崇 貴志悠矢 後藤 誠 藤井 瞬 吉田隆紀 谷埜予士次 笹井美伽 田中健一 小奈武陸 高木啓至 佐野久実 森本剛史 山本義隆 小澤明人 溝端良太 濱本 学 松島哲弥 餅越竜也 大谷啓尊 沖西正圭 柳野浩司 丸岡 隆 高取克彦	動作のメカニズムがよくわかる 実践！動作分析		119-123	2016
4	人工膝関節置換術後における動作分析	藤野文崇 貴志悠矢 上杉雅之 西守 隆 金井一暁 長谷川 治 松井知之 東 善一 甲斐義浩 大野直紀 後藤 誠 藤井 瞬 吉田隆紀 谷埜予士次 笹井美伽 田中健一 小奈武陸 高木啓至 佐野久実 森本剛史 山本義隆 小澤明人 溝端良太 濱本 学 松島哲弥 餅越竜也 大谷啓尊 沖西正圭 柳野浩司 丸岡 隆 高取克彦	動作のメカニズムがよくわかる 実践！動作分析		128-134	2016
5	臨床家のための実践からの事例研究	小奈武陸 山川雅史	PNF FUN!	10	17-20	2016

(2) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	摂食嚥下障害患者に対するバクロフェン髄注療法術前後のVF における検討	廣谷典子	第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会	口演	2015.9.12
2	当院における周術期がん患者のリハビリテーションについて	藤野文崇	リハケア合同研究大会	口演	2015.10.3
3	レッドコードを使用した股関節外転筋強化への取り組み	山川雅史	日本レッドコード学会	一般演題	2016.2.7
4	リハビリテーション実施中の急変時対応の取り組み	藤原良太	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	シンポジウム	2016.2.27
5	当院救命救急センターにおけるリハビリテーション科と看護部の取り組み—第2報—	大野直紀	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2016.2.27

(3) 研究会・講演会

番号 整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	人工股関節置換術後症例に対するロボット歩行の有効性	山川雅史	本田技研工業 ロボット歩行研究会	2015.7.26
2	市民公開講座「がんのリハビリテーション」	石田恭子		2015.10.17
3	栄養管理と嚥下～低栄養により嚥下障害をきたした患者の経過～	廣谷典子	第21回泉州地区NST研究会	2015.10.31
4	全日本ジュニア・バドミントン研修合宿「頸部と肩甲骨・肩関節のストレッチ」	貴志悠矢	全国高等学校バドミントン協会	2016.1.6

(4) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	当院における糖尿病教育入院患者の退院後運動療法の継続状況について	河野真也	第58回日本糖尿病学会年次学術集会	2015.5.22
2	言語聴覚療法の現状と動向	一柳律子	日本言語聴覚士協会基礎講座	2015.7.12
3	PNF肩甲帯パターンについて	藤野文崇	日本PNF協会	2015.7.12
4	PNF下肢パターンについて	山川雅史	日本PNF協会	2015.10.18

(5) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	新人看護師向け移乗ポジショニング講習会	藤田将敬 岡田仁志	新人看護師向け移乗ポジショニング講習会	2015.4.24
2	摂食・嚥下評価	廣谷典子	NST専門療法士研修 前期・後期	2015.6.9 2015.12.8
3	7海看護師への移乗講習会	藤田将敬 山川雅史		2015.6.15 2015.6.18
4	サルコペニア(筋減弱症)を知って貯筋をしよう～サルコペニアがもたらす問題～	廣谷典子	生活習慣病予防教室(第5回)	2015.10.8
5	フットケア	石田恭子	生活習慣病予防教室	2016.2.18
6	作業療法ってなんだろう	藤田将敬 黒木真生	市民健康講座	2016.2.20



平成28年度

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	鈍的外傷患者の重症度は早期離床の開始時期を予測できるか?	大野直紀 藤野文崇 岡田仁志 前山啓介 榎谷昭一	第56回近畿理学療法学会学術大会誌	第46号		2016

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	心不全におけるClinical frailty scaleの入院期使用の有用性	宮本誠一郎	第22回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	ポスター	2016.7.17
2	荷重量変化に対する神経-筋腱の応答	大野直紀 佐野加奈絵 国正陽子 久野峻幸 牧野晃宗 石川昌紀	日本体育学会第67回大会in大阪体育大学	ポスター	2016.8.24-26
3	集中治療領域における理学療法士と作業療法士の介入時期の検討	大野直紀 藤野文崇 岡田仁志 前山啓介 藤本忠寛 榎谷昭一	リハビリテーション・ケア合同研究大会 茨城2016	ポスター	2016.10.27-29
4	人工膝関節置換術後におけるCPMの満足度と必要性の検討	大野直紀 藤野文崇 山川雅史 津野光昭 貴志悠矢 田中 涼 馬部良美 榎谷昭一	リハビリテーション・ケア合同研究大会 茨城2016	ポスター	2016.10.27-29
5	急性期病院でプランター水やりを行うことで笑顔が戻った症例	藤田将敬	第36回近畿作業療法学会	ポスター	2016.11.13
6	目標の共有ができない急性期から、生活行為向上マネジメントを用いた介入経験	○坂口宏彰 安江優美 前山啓介	第36回近畿作業療法学会	ポスター	2016.11.13
7	鈍的外傷患者の重症度は早期離床の開始時期を予測できるか?	大野直紀 藤野文崇 岡田仁志 前山啓介 榎谷昭一	第56回近畿理学療法学会学術大会	ポスター	2016.11.26-27
8	鈍的外傷における早期離床遅延の予測因子	大野直紀 石井健太 福間 博 鄭 賢樹 泉野浩生 水島靖明	第44回日本集中治療医学会	口述	2017.3.8-11

(3) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	新人看護師向け移乗ポジショニング講習会	藤田将敬 瀧口 薫		2016.4.22
2	整腸体操	藤野文崇 黒木真生	生活習慣病予防教室	2016.10.13
3	ウォーキングで健康増進	栗山泰典	シーサイドウォーキング	2016.12.11

(4) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	作業療法について	安江優美	多職種カンファレンス	2016.5.18
2	DVTの予防と対策	大野直紀	救命診療科勉強会	2016.6.30 2016.7.11
3	高次脳機能障害と日常生活動作	藤田将敬 黒木真生	脳エキスパート	2016.8.15
4	救命救急センターにおけるリハビリテーションの実際	大野直紀 石井健太 切詰和孝	多職種カンファレンス	2016.11.2
5	サルコペニアと嚥下障害	宮本誠一郎 高田晃宏 中口郁夫	NST勉強会	2017.2.16
6	適切なポジショニングについて	藤本忠寛	多職種カンファレンス	2017.3.24



平成29年度

(1) 和文原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	統合と解釈による 実践！理学療法評価プロセス	大野直紀 上杉雅之 西守 隆 松尾善美 高瀬広詩 堀江 淳 藤井 瞬 永嶋道浩 大石恵司 井阪美智子 森沢知之 新谷圭亮 弓永久哲 金井一暁 大谷啓尊 中越竜馬 福本貴彦 田中健一 橋本雅至 木下和昭 津野光昭 井上由里 落合慶之 小柰武陸 岩城隆久 市川健太 浜岡克伺 肥田光正 浅井友詞 森本浩之 石井光昭 西村真人	医歯薬出版株式会社			2018
2	統合と解釈による 実践！理学療法評価プロセス	津野光昭 上杉雅之 西守 隆 松尾善美 高瀬広詩 堀江 淳 藤井 瞬 永嶋道浩 大石恵司 井阪美智子 森沢知之 新谷圭亮 弓永久哲 金井一暁 大谷啓尊 中越竜馬 福本貴彦 田中健一 橋本雅至 木下和昭 津野光昭 井上由里 落合慶之 小柰武陸 岩城隆久 市川健太 浜岡克伺 肥田光正 浅井友詞 森本浩之 石井光昭 西村真人	医歯薬出版株式会社			2018

(2) 国際学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	NEUROMUSCULAR RESPONSES TO UNWEIGHTING AT STANDING	Naoki Oono, Kanae Sano, Yoko Kunimasa, Akitoshi Makino, Caroline Nicol, Paavo V Komi and Masaki Ishikawa	The XXVI Congress of the International Society of Biomechanics	Poster	2017.7.23-27

(3) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	免荷後の再荷重時における神経一筋腱の応答	大野直紀 佐野加奈絵 国正陽子 牧野晃宗 石川昌紀	第52回日本理学療法学会	ポスター	2017.5.12-14

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
2	鈍的外傷症例における早期離床の遅延因子と課題	大野直紀 石井健太 福間 博 泉野浩生 中尾彰太 井戸口孝二 藤野文崇 岡田仁志 岡田恭子 津野光明 松岡哲也	第20回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	口演 (シンポジウム)	2017.5.26-28
3	当院における嚥下評価 ～KTバランスチャートを基準とした検討～	千葉典子	第23回日本摂食嚥下リハビリ テーション学会	ポスター	2017.9.15
4	人工膝関節単顆置換術後における移動動作の獲得特性	栗山泰典 大野直紀 津野光昭 伊豆蔵正明	第5回日本運動器理学療法学 会学術集会	ポスター	2017.9.23-24
5	早期離床から食事動作が獲得できた一例	藤本忠寛	第37回近畿作業療法学会	口述	2017.10.1
6	重症整形外傷を伴う鈍的外傷症例における離床特性	大野直紀 泉野浩生 福間 博 中尾彰太 伊豆蔵正明 松岡哲也	第45回日本集中治療医学会 学術集会	口演 (パネルディス カッション)	2018.2.22

(4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	長生き健康体操	栗山泰典	りんくうシーサイドウォーキング	2017
2	新人看護師向け移乗ポジショニング	田中 涼 中村香織	新人看護師向け研修	2017.4.21
3	摂食嚥下評価	千葉典子	NST専門療法士研修	2017.6.6
4	肩こり腰痛知らずのストレッチ	津野光昭	市民健康講座	2017.9.16
5	脳外エキスパート研修	藤田将敬	脳外エキスパート研修	2017.11.14
6	拘縮が強い人へのポジショニング	中口郁夫	多職種カンファレンス	2018.1.17

(5) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	集中治療領域における早期リハビリテーションの現状と課題	大野直紀 織田成人	第20回日本臨床救急医学会総会・学術集会	2017.5.26-28



平成30年度

(1) 和文原著, 総説, 著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	人工呼吸管理を要する重症鈍的外傷における離床遅延因子(原著)	大野直紀,石井健太,泉野浩生, 福間博,中尾彰太,松岡哲也	日本集中治療医学会雑誌	26巻1号: p.13-18.2019年

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	人工呼吸管理を要する鈍的外傷患者の離床遅延の特徴～脊椎・骨盤・四肢外傷に合併する臓器損傷の違い～	大野直紀,大久保裕介,前山啓介,馬部良美,藤本忠寛,今岡真和,泉野浩生,福間博,中尾彰太,松岡哲也	第21回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	口述(シン ポジウ ム)	2018.5.31 -6.2
2	人工呼吸管理を要する鈍的外傷症例の離床遅延因子と今後の課題	大野直紀,石井健太,大久保裕介,前山啓介,泉野浩生,福間博,中尾彰太,松岡哲也	第32回日本外傷学会総会・学 術集会	口述(ワ ークショ ップ)	2018.6.21-22
3	心疾患患者における快適歩行速度6分間歩行距離と心肺運動負荷試験による運動耐容能の関係	宮本誠一郎,小西勇亮,藤原良太,河野真也,瀧口薫,伊藤仁人,岡田健助,鎌田創吉,伊豆蔵正明	第24回日本心臓リハビリテー ション学術集会	口述	2018.7.14-15
4	心不全・開心術後の低運動機能症例の運動機能回復の特徴について～SPPBの各機能を分析～	小西勇亮,藤原良太,河野真也,瀧口薫,宮本誠一郎,大久保裕介,岡田健助,鎌田創吉,伊豆蔵正明	第24回日本心臓リハビリテー ション学術集会	ポスター	2018.7.14-15
5	術後THA患者のOTの取り組みについて	坂口宏彰,津野光昭,栗山泰典,荒田浩義,馬部良美,石野結衣	第38回近畿作業療法学会	スライド	2018.7.22
6	運動失調患者の運動学習過程の特徴について～足部機能から立位姿勢を中心に～	小西勇亮,田中涼,栗山泰典, 高木泰宏	第19回認知神経リハビリテー ション学会学術集会	ポスター	2018.9.29-30
7	エゴグラム分析を用いた当院における新人教育について	栗山泰典	リハビリテーション・ケア合同研 究大会	ポスター	2018.10.3

(3) 研究会・講演会

番号 整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	早期離床の考え方と実際	大野直紀	大阪府理学療法士協会 南河内ブロック, 新人研修会	2018.8.30

(4) 学術講演・講義

番号 整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	早期離床の考え方と実際	大野直紀	大阪府理学療法士協会主催, 南河内ブロック 新人研修会	2018.8.30

(5) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	認知症サポート養成講座	坂口宏彰	研修会	2018.9.26
2	血液内科のリハビリテーション	栗山泰典	他職種カンファレンス	2019.1.16
3	行動・心理症状(BPSD)の理解について	坂口宏彰	認知症ケア研修会	2019.1.18

(6) 座長

番号 整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	一般演題 運動器⑥	大野直紀	大阪府理学療法学会	2018.7.1

平成31年度・令和元年度

(1) 和文原著, 総説, 著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	PT・OT入門 イラストでわかる評価学	大野直紀, 貴志悠矢, 他	医歯薬出版	2020.3.10:1-21,65-68
2	救命救急センターで理学療法士に求められる知識と役割-脊髄損傷の場合	大野直紀, 小野秀文, 中尾彰太	メディカルプレス「理学療法」	36巻5号, pp.414-420.
3	特集 全体像を把握する「統合と解釈のプロセス」	西守隆, 上杉雅之, 大野直紀	医学書院「PTジャーナル」	53巻5号, pp.449-458.

(2) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	人工呼吸器患者に対して神経筋電気刺激におけるエネルギー代謝の安全性の検討	前山啓介, 大野直紀, 他	日本臨床救急医学会学術集会	口演	2019.6.1
2	経口気管挿管患者の抜管時と退院時の嚥下Gradeと関連要因の検討	千葉典子	日本摂食嚥下リハビリテーション学会	口演	2019.9.6
3	上肢ペダリング運動により離床可能となった長期カテコラミン留置した心不全患者の報告について	小西勇亮	心臓リハビリテーション学会 分化学会大阪	口演	2020.2.15
4	重症患者の抜管と退院時の嚥下障害に関する検討	千葉典子	日本静脈経腸栄養代謝学会	口演	2020.2.28
5	人工呼吸管理を要する重症鈍の外傷における離床遅延因子	大野直紀, 石井健太, 泉野浩生, 福岡博, 中尾彰太, 松岡哲也	第47回日本集中治療医学会	口演	2020.3.6
6	重度意識障害を呈した急性期脳出血患者に対する早期離床の効果	田中涼, 大野直紀, 小野秀文, 石野結衣, 西田彰良, 萩原靖	第47回日本集中治療医学会学術集会	ポスター	2020.3.8

(3) 学術講演・講義

番号 整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	認知症サポーター養成講座	坂口宏彰	西本町会館(住民に対して認知症サポーター養成講座)	2019.4.12
2	急性期の脳卒中のリスク管理	小西勇亮	和歌山国際厚生学院	2019.6.25
3	急性期の脳卒中のリスク管理	小西勇亮	和歌山国際厚生学院	2019.7.2
4	造血幹細胞移植患者へのリハビリテーション	石田恭子	移植会議	2019.7.22
5	定期勉強会 肩甲帯・骨盤体パターン	貴志悠矢	日本PNF協会	2019.10.27
6	嚥下障害 I	高田晃宏	大阪医療技術学園専門学校	2019.10~

(4) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	新人看護師向け移乗ポジショニング	荒田浩義	新人研修会	2019.4.12
2	脳卒中早期離床支援	田中涼, 石野結衣, 中村香織	院内看護エキスパートコース	2019.6.21
3	呼吸リハビリテーション	小西勇亮	院内看護エキスパートコース	2019.6月
4	嚥下評価	千葉典子	NST専門療法士研修	2019.6月
5	摂食機能療法について	野瀬寛人	5山病棟勉強会	2019.7月
6	認知症サポーター養成講座	坂口宏彰	大阪府による認知症啓発活動	2019.9.26
7	脳の体操	藤田将敬, 安江優美	市民健康講座	2019.10.19
8	嚥下評価	千葉典子	NST専門療法士研修	2019.11月
9	健康行動理論に基づく心臓リハビリテーション	宮本誠一郎	多職種カンファレンス	2020.2.19

令和2年度

(1) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	肥満は自転車エルゴメーターによるCPXのAT代謝当量に影響を与える	宮本誠一郎, 大野直紀, 藤原良太, 瀧口薫, 小西勇亮, 峯諒介, 岡田恭子, 岡田健助, 小野秀文	第26回日本心臓リハビリテーション学会学術集会(Web開催)	ポスター	2020.7.18-19
2	二次救急におけるリハビリテーション医療の適応除外患者の特徴	大野直紀, 石田恭子, 小野秀文, 中尾彰太, 松岡哲也	第57回日本リハビリテーション医学会学術集会(ハイブリッド方式開催)	ポスター	2020.8.19-22
3	重度意識障害を呈した急性期被殻出血患者の意識障害の遷延因子	田中涼, 大野直紀, 小野秀文, 西田彰良, 西田結衣, 萩原靖	第18回日本神経理学療法学会学術大会(Web開催)	口演	2020.11.28-29
4	TKA術後患者に対する大腿四頭筋の遠心性収縮を意識した起立-着座動作がTrailing limb angleに及ぼす影響	高山絵莉香, 貴志悠矢, 大野直紀, 澤田典与司, 小野秀文	第60回近畿理学療法学術大会(ハイブリッド方式開催)	ポスター	2021.2.7
5	TKA術後リハビリテーションのPT1年目に対する教育方法の違いとその効果	貴志悠矢, 住吉山健太, 高山絵莉香, 大野直紀, 岡田恭子, 津野光昭, 河野真也, 澤田典与司, 小野秀文	第60回近畿理学療法学術大会(ハイブリッド方式開催)	ポスター	2021.2.7
6	当院のCOVID19における理学療法の取り組み	大久保裕介, 大野直紀, 栗山泰典, 桜井良美, 瀧口薫, 石田恭子, 津野光昭, 小野秀文	第48回日本集中治療医学会学術集会(Web開催)	口演	2021.2.12-14
7	当院独自のフローチャートとパンフレットを作成し、自宅復帰できたCOVID-19患者の一症例	栗山泰典, 大久保裕介, 大野直紀, 小野秀文, 関雅之, 倭正也, 松岡哲也	第48回日本集中治療医学会学術集会(Web開催)	口演	2021.2.12-14

(2) 研究会・講演会

整理番号	演題	発表者	研究会名	年月日
1	運動療法におけるリスク管理～呼吸・循環に着目して～	栗山泰典	泉佐野市・田尻町理学療法士協会(ハイブリッド方式開催)	2020.11.11
2	理学療法におけるリスク管理～COVID-19における取り組み～	大野直紀, 大久保裕介	泉佐野市・田尻町理学療法士協会(ハイブリッド方式開催)	2020.11.11

(3) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	理学療法技術論～PNFを用いた運動療法～	貴志悠矢	大阪府立大学 特別講義(Web開催)	2020.6.25 2020.7.9
2	運動療法のリスク管理(90分×6回)	宮本誠一郎	履正社医療スポーツ専門学校	2020.9.1-12.31
3	救命救急における理学療法士の役割	大野直紀	関西医療学園専門学校 特別講義(Web開催)	2020.10.28